見えた!?三重津海軍所
佐賀藩海軍
特注磁器の謎

平成３０年
8/22〈水〉～
9/17〈月・祝〉

主催・会場
佐賀大学美術館２階
SUAM

休館日	毎週月曜（月曜祝日の場合は翌火曜）
後　援	佐賀県、佐賀市、佐賀市教育委員会
入館料	無料

1868 SAGA 2018
肥前さが 幕末維新博覧会
佐賀さいこう博 150th ANNIVERSARY
2018 3.17 — 2019 1.14

「見えない世界遺産・三重津」と佐賀藩近代化事業の新たな一面が、見えてくるかも…？

2015年７月より「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界遺産に登録された、佐賀市諸富町・川副町にまたがる三重津海軍所跡。
幕末の佐賀藩では、海防強化の必要性から、反射炉建造による鉄製大砲鋳造や、精煉方での蒸気機関の研究など、様々な近代化に向けた研鑽が行われていました。その集大成といえるものが洋式海軍の創設であり、その拠点となった場所が三重津海軍所です。ここには、現存する日本最古の乾式船渠（ドライドック）があり、蒸気船のメンテナンスや、ボイラーの製作等が行われました。
三重津海軍所跡からは「灘越蝶文」という荒波を勇壮に越えていく蝶を描いた磁器食器が数多く出土しています。これは、鍋島藩窯（伊万里市大川内山）で使われた図案で、「海」等の組織名を連想させる文字を組み合わせ、佐賀藩が海軍備品として生産地に特別に注文した品物と考えられています。
「灘越蝶文」を施された海軍用食器からは、幕末という時代の荒波を越え、見事に近代化事業を成し遂げようとする佐賀藩の意気込みが投影されているようにも感じとれます。
本展では、三重津海軍所跡から出土した特注磁器食器を佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの先端技術を用いて科学的見地から分析した結果を、研究者の考察とともに紹介します。

«記念講演会»

◎ **講師：徳永 貞紹 氏（佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課長）**
「佐賀藩の磁器生産と三重津海軍所の海を渡る蝶（仮）」

◎ **講師：田端 正明 氏（佐賀大学名誉教授）**
「出土磁器の生産地はどこか？ 科学的に解明する」

◎ **日時：8 / 25（土）13:30~16:40**
◎ **場所：佐賀大学 教養教育２号館 2101 教室**
◎ **参加無料・予約不要**

«ワークショップ：描いてみよう灘越蝶文»

素焼きの小皿に呉須（藍色の絵具）で灘越蝶文の絵付けをしてみよう

◎ **協力：田中 右紀 氏（佐賀大学芸術地域デザイン学部 窯芸 教授）**
◎ **日時：9 / 2（日）14:00~15:00**
◎ **場所：佐賀大学美術館 1階スタジオ ◎対象：小学生以上**
◎ **定員：15名 ※お電話にてご予約ください → 0952-28-8333**
◎ **参加無料 ※別途送料がかかります**

«ギャラリートーク：専門家にうかがう展示資料のお話»

いずれも佐賀大学美術館 2階にて 参加無料・予約不要

<第1回> 8/26（日）13:30~
◎ **講師：徳永 貞紹氏（佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課長）**

<第2回> 9 / 9（日）13:30~
◎ **講師：中野 充氏（佐賀市教育委員会 発掘調査担当）**

佐賀大学美術館
SUAM

開館時間　10:00~17:00（入館16:30まで）
休館日　月曜（月曜祝日の場合は翌火曜）
入館料　無料

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町本庄1
☎0952-28-8333　FAX 0952-28-8215
https://www.facebook.com/sagau.museum/
https://museum.saga-u.ac.jp/

交通アクセス

◉佐賀駅バスセンター4番のりばから
佐賀市営バス(佐賀大学前下車)・・・・・約15分
【４】佐賀女子短大・高校線(佐賀大学前経由)
【11】佐賀大学・西与賀線
【12】佐賀大学・東与賀線
【63】佐賀女子短大・高校線(佐賀大学前経由)

◉佐賀駅からタクシー・・・・・・・・・・約10分
◉佐賀空港からタクシー・・・・・・・・約20分
◉佐賀大和I.C.から自家用車・・・・約20分

駐車場

美術館の西隣に「**美術館・カフェソネス利用者優先駐車場**」があります（最大36台）
混雑する場合がありますのでご注意下さい